

ひでお行動

VOL.20

<http://www.hideo-y.org/#top>
吉泉秀男の毎日の動きがわかります。
ホームページをご覧ください。

6月8日

朝1便で上京、9時10分の衆参議員総会時間ギリギリなのでタクシー



で向かう。国会情勢混沌としている。民主党支持が回復し国民新党との合意事項である「郵政改革関連法案」今国会成立見送りし、会期延長なしで参議院選挙突入と言う民主党内で声が大きくなる。社民党としてどうするのか。国民新党との信頼関係あるが、「労働者派遣法案」成立する為の会期延長でなければならない。両議員総会で状況見ながら私達の態度を意思疎通図る。

11時、[障害者自立支援法案]がこれまで議論を積み上げてきた経過を一方的に反古し上程されたことに対する抗議、そして要望書を受け取り、障害者権利条約の理念を尊重した法改正に向けて共に闘うことを誓う。12時で尾花沢市議会議員陳情受ける。15時からJA主催「農



業・農村の活性化に向けた政策討論集会」に社民党代表してパネラーとして登壇、全国からJA組合長はじめ1000名出席、もちろん山形県からも、地元余目農協組合長も参加していた。今回から野党の席から発言、しかし、「口蹄疫」はじめこの8ヶ月農林水産委員会で議論してきたが、今の農業情勢からすれば与野党議論の末一致して展望を見出していかなければならない状況である。土曜日に秋田、来週は地元鶴岡で各政党出席し同じような集会がある。5時から労働者福祉中央協議会と意見交換、そして要請書受け取る。姉の主人から散髪してもらう為に八王子に向かい泊まる。

6月9日

菅総理の所信表明1日とやっと決まる。しかしそれ以降の日程は決まらず。10時から昨日に続き尾花沢市儀団2班が陳情に来る。11時から朝鮮学校「高校無償化」を求める文部科学



省に対する要請と意見交換。社民党から幹事長、副幹事長と出席する。現在対象外とされ検討委員会で検証され夏までに結論を出すことになっている。検証にあたっては外交、民族教育の有無は判断材料から外し、あくまでも「基準と手続き」「審査体制」について判断するとしている。日本で生まれ育ち、日本社会の一員と暮らしていく生徒たちに差別は許されない。卒業生は大学進学し、弁護士、医師などで活躍している。

2時から総務省「定住自立圏」取組みについて意見交換。昨年からは始まっているが山形県は手をあげている市町村はない。「地域から国づくり」という流れの中で山形県の取組みが遅くなっている。3時から基金を活用した教育訓練制度について担当者と意見交換。現在の制度は自民党政権の下で緊急につくられたもので私達の求めているものとは程遠い制度である。私達はまず最低生活保障し教育訓練と言っているが、今の制度は教育訓練が先であり生活支援給付は厳しい制限を決め、教育訓練が生かされない状況にある。来年度から制度化に向けて「労働政策審議会」で審議始まっている。連合からも委員を出しているし、社民党の考え方を押し通していく努力する。「天府」会場に苦労さん会、話題は「社民党」の行く末である。いろんな角度から議論が展開される。社民党を思う気持ちで論じられる事を大事にしながら、議員秘書、社民党書記局招いて定期的に懇談の場を持つ事を確認する。社民党にとって当たり前の話であるが、今日は熱心に議論された事に感謝である。

6月10日

8時半社民党常任幹事会、参議院選挙、岩手選挙区から伊沢昌弘県連幹事長公認候補決定、青森、宮城、そして岩手と候補者擁立、各県連の努力に敬意と感謝である。会期延長めぐり今日も断続的に与野党幹事長会議、国会対策委員長会議開かれている。民主党支持率回復で選挙優位との判断で、所信表明に対する各党の代表質問だけで、予算委員会での論議は拒否する姿勢は前代未聞である。総理が交代した以上、国会論戦を通じて国民に選挙の判断材料を提供するのは当然のことである。荒井聡国家戦略大臣の事務所問題、石川、小林議員の辞職勧告問題、前小沢幹事長の政治倫理審査会など、すべてに蓋をし選挙戦に走るのはまさに国民を無視した党利党略そのものである。ましてや郵政改革関連法案など重要法案が成立しないとなれば、与党としての国民新党は・・・遅くまで対策続く。22時半に連絡入り参議院選挙日程動か

6月7日



9時出発、午前中酒田、飽海地区、午後から鶴岡地区今日で最後の街宣である、4日間とも快晴、今日は日本海見渡し海岸線を走り、又、新緑の林道を走りながら「社民党」をアピールし、車を止めては街頭演説をこなす。昼食は中国料理「竜鵬」1時過ぎていたのでゆっくり食事する。兄の店と弟が経営する店がある。どちらも美味しい。昨日は手打ちそば「きよ」で「かいもち」を食べた。「そばがき」とも言うが、これを食できる店は少ない。山形は美味しいものがたくさんある。映画「おくりびと」で酒田を訪れる観光客は多い。今日も日和山公園に大型バス止まっており観光客からも「社民党がんばれ」とエールを頂く。いよいよ明日は菅総理の所信表明である。朝1便で向かい9時から社民党の代議士会に出席し、4日間の街宣行動を報告しながら社民党としての管政権に望む姿勢の意思疎通を図る。

さず会期を1日だけ延ばす案も示され野党持ち帰り明日に引き続く。しかし、明日13時から本会議開会し総理の所信表明行う事は合意なるとの事、明日社民党としての意思疎通を図る。今日は常任幹事会終了後、自治労東北地連現業評議会総会、学習会出席の為、仙台秋保温泉へ、向かっている最中に16時半から都市で口蹄疫感染牛問題で農林水産理事懇談会開催と連絡入る。挨拶して戻る、自民、公明はこの問題で農林水産委員会開催求めたが、民主党受け入れず、与野党筆頭理事で調整することになる。都市に感染した口蹄疫のこの非常事態に委員会開催に合意できないと民主党与党、何考えているのか。これでは政権党として先行きが……、畜産農家の悲鳴が聞こえないのか。

6月11日

朝4時のニュースで亀井大臣辞任を知る。深夜まで見守っていたが、国民新党離脱でなく亀井代表責任を取って決着、国民新党も悩み悩んだ末の答えである。8時半からHP、ネット献金打ち合わせ、10時から「線維筋痛症」「難病」等について厚労省担当者と意見交換、11時から農林水産政策打ち合わせ、12時45分代議士会、13時本会議、管総理の所信表明、昨日に引き続き14時半農林水産理事会、月曜日9時半から委員会開催決まる。口蹄疫問題である。私の質問時間15分と決まる。今日のうち質問通告しなければならず、急いで政策秘書と社民党政審と意見交換し通告する。明日社民党県連大会、秋田こめパネラー参加の為、新潟経由新幹線で自宅へ、列車の中で原稿整理、24時前自宅着

今日の整理
・40分以上の菅総理の所信表明、感銘する言葉も少なく、「強いリーダーシッ



プ、「強い経済・財政・社会保障」そして超党派の「財政健全化検討会議設置」と呼びかけたが、野次も多く総理の意気込みばかりが目立つ所信表明であった。来週各党の代表質問はあるが、会期末であり論戦の時間は限られている。
・口蹄疫、宮崎と日向にも感染拡大、昨日持ち帰った民主党は受け入れ、来週月曜日委員会開催で合意。民主25分、自民90分、公明30分、社民党15分と質問時間決まる。連日連夜の必死の防疫体制とりながらも感染、落胆と焦り……最後の質問バッテリーであり、各党の質問を聞きながら重複しない為に多くの項目を用意する。

6月12日

10時から社民党山形県連合定期大会である。県連代表を広谷代表から代わって引き受ける事となるが、秋田県湯沢で農業者大会で社民党代表としてパネラー出席、就任挨拶もできず、11時半で退席……こういう状況であるが、広谷氏が代表代行でサポート、他の役員に多くの負担をかけるが、しっかり任務をこなしていかなければならない。大会には吉村知事、和島民主党県連代表、大泉連合会長、岡田平和センター議長が来賓として出席頂きエールを頂く。待ったなしの参議院選挙、県選挙区はこれまでの連合を軸とした民主党、社民党選挙協力を大事にしながら、民主党予定候補「梅津氏」協力という方針で臨む。5名のうち3名が改選、党派は5名以上、社民党にとって今回の参議院選挙はまさに社民党そのものが問われている選挙である。国会閉会と同時に戻り私の行動を山形県内中心とした選挙行動日程組むようお願いし東北、中央との日程調整に入る事にする。

湯沢の農業者大会、はじめての参加であるが、さすが「コメところ」である。自治体、JA、農業委員会、土地改良区一体となり実行委員会をつくり、各政党の政策について聴く、基調講演は農林水産省大臣官房政策課長である。衆議院農林水産委員会の民主党森本筆頭理事も三重県から8時間かかりパネラーとして出席する。

社民党農業政策「もっともっと田んぼの底から」具体的にアピールする。会場からの質問は2人であるが政権党民主党に……すこし、がっかりする、自民党、公明党、共産党と5党、いずれも国会議員出席であった。

6月13日



県道曲川線整備促進同盟会総会（鮭川村）出席の為9時半事務所を出発したが、開会時間10時半前に曲川小学校に着くが誰もいない。日時間違ったのか……支持者に連絡し曲川小学校分校が会場であると聞き、急いで向かうが遅刻、でも村長が挨拶終わったところで着いたので、あまり迷惑かけずにほっとする。しかし、国会議員、県議会議員だれもが欠席、あまりにも失礼ではないかと思う。この同盟会は曲川地区の一番はずれの集落「芦沢」の住民が母体となって陳情活動している組織でもある。今日は地域のほとんどの人達が集まり、昨午がけ崩れで、狭い県道が益々不便になっている状況も含めて、村長、村議会議員、県議会議員、そして国会議員に理解を深めて頂きたいと思っていたのに欠席とは……分校は廃止され、集落には小学校5人、この子ども達の意見発表、意思疎通がうまくできていなくて……時間かかってしまう。集落では「バラ」栽培をはじめ山菜の宝庫でもある。集落の結束力は強い、帰りにバラ、ワラビを頂く。

その後戸沢村神田地域で「山を守る」仲間達が「炭焼きがま」を造っている場所にK氏から案内して頂き意見交換。伐採した木で炭をつくり

川の浄化などに利用しているが、ほとんどボランティアであるが。事業として立ち上げていく為の準備もしている、このメンバーだけでなく、炭を焼いているグループがあり連絡会をつくり、その中に県も加わり準備会を立ち上げようとしている、話は事業立ち上げから年金、医療費など日を追うごとに暮らしにくくなってきていると訴えられる。そして、政治情勢……社民党に力強いエールを頂く。

地元庄内町で13時半「第18回わんぱく相撲大会」に出席、全国大会予選も兼ねた県大会である。



小学校4年、5年、6年生の3人チームで総当たり戦である。庄内町は毎年9月に新潟、秋田、山形の3県対抗相撲大会が開催されていて、相撲ファンが多くいる。今日も多くの人たちがさじき席から大きな声が飛ぶ。熱戦最後まで見られず退席

3時に県議大先輩M先生宅にお邪魔し、社民党県連代表受けることになった報告と国会状況報告しながら指導賜る。沖縄普天間移設先、「グアム。テニアン」社民党案、賛成、テニアンに行く時は一緒に参加したい。と暖かいエール頂く。5時鶴岡K氏と事務所意見交換する。社民党保坂予定候補者とも知り合いで、参議院選挙手伝いたいと力強い申し出、7時ちかくまで話し込んでしまう。

7時から後援会長に社民党県連代表報告しながら、15日告示に迫った庄内町議会議員選挙対策で意見交換、ここにきて、立川地区からS氏名乗りをあげ無投票から選挙戦となり、各陣営臨戦態勢に入る。我が陣営2人であるがもう1名加わる状況もあり、後援会長に必勝体制指導をお願いする。

10時45分「あけぼの」寝台で上京する。